

# ARTS for HOPE

宮城チーム活動報告書 2014年8月11日

仙台・荒町児童館「チョークでお絵かき」



表での「チョークでお絵描き」が不可能な場合も考え、室内でのハッピーペインティングの用意も持参して、児童館へと向かいました。と、雨はまだなんとか大丈夫な感じ。屋根のあるエントランスのタイルばりの場所は、昨日の大雨の名残も少なく、チョークでお絵描きができそうな様子です。日頃の行いが良いせいに違いないと、スタッフ&児童館の先生もひと安心。

そして、予定の10時よりちょっと早めにワークショップはスタートしました。

最初は、タイルにいろいろな絵をチョークで描いていたみんなですが、その色をこすったり、混ぜて色をつくったり、出てくる粉を集めて山をこさえているグループも出てきます。

車道の寸前まで、線路を敷いた女の子は、途中にちゃんと「荒町駅」も作りあげ、黒く丸い柱には、銀河鉄道も走り、蝶々もたくさん飛び交います。“思いついた絵を描く”から始まりつつも、やがて、子どもたちみんなが、物語

のなかの住人になって、絵も変化してゆくのが手に取るようにわかる感じでした。

描く場所は広がり、アスファルトの駐車場へと進出してゆきましたが、夢中になっている時間もそろそろ終了。さて今からは、このチョークの絵をぜ〜んぶ水を流して消す作業となります。夏は、それも楽しい遊びのよう。ホースで水を飛ばしたり、ジョーロからも水をジョボジョボ。瞬く間に、明るく素敵な作品たちは、流れ消え行くのです。惜しい気持ちもありますが、子どもたちは元気に、その作業も熱中のうちに終了。幻のようなアートが花咲いた8月11日の荒町児童館で

ありました。

